International Nanotechnology Exhibition & Conference

nano tech 2024

国際ナノテクノロジー 総合展・技術会議

開催報告書

Jtb Communication Design

作成：2024年3月1日

開催概要/出展者・来場者数

名 称	nano tech 2024 第23回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
日 時	2024年1月31日(水)～2月2日(金)10:00～17:00
会 場	東京ビッグサイト東4・5ホール
テーマ	未来のビジネスを拓く Shaping the Future of Business

同時開催展

MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024
CONVERTECH 2024
新機能性材料展2024
GREEN MATERIAL 2024
3DECO tech 2024
WELL-BEING TECHNOLOGY NEW
ENEX 2024
DER Microgrid Japan 2024
RENEWABLE ENERGY 2024
Offshore Tech Japan 2024 NEW
InterAqua 2024

来場者数(同時開催展合計)

52,351名

※オンライン参加含む総来場登録数

うち東京ビッグサイト来場者

開催日	天候	来場者数
1/31(水)	☀	12,605名
2/1(木)	☀	13,793名
2/2(金)	☁	15,636 名
3日間合計		42,034 名

出展者数(nano tech 単独)

出展者数

453 団体

国内:348 / 海外:105

小間数

448.04小間

国内:382.04 / 海外:66
※1小間9㎡換算

参加国

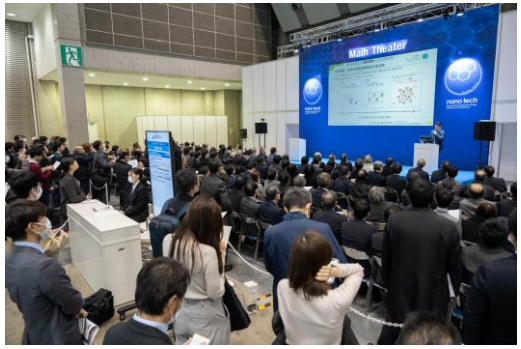
15 カ国

アメリカ、イタリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、シンガポール、スペイン、台湾、チェコ、中国、ドイツ、フランス、ベルギー、日本

特別シンポジウム

※各講演の詳細はオフィシャルウェブサイトへ

主催者企画として24講演を実施



1月31日(水) 9:30-11:30 硫化物系全固体電池の研究開発最前線

全固体電池研究の道程と最新状況
菅野 了次 氏
東京工業大学
全固体電池研究センター長・特命教授

全固体電池普及に向けたアルジロダイト型硫化物固体電解質の特徴と開発状況
高橋 司 氏
三井金属鉱業 事業創造本部
SE 事業推進ユニット 事業戦略室 室長

アルジロダイト型固体電解質を用いた全固体電池の開発
山田 將之 氏
マクセル
新事業統括本部 ビジネス開発部 部長

1月31日(水) 11:45-13:45 CNFを活用した地域GXの最前線 ～CNFは脱炭素社会の実現に向けた新たな地域資源～

CNFを活用した地域経済の活性化にむけた課題と解決策
渡邉 政嘉 氏
ナノセルロースジャパン CNF塾長

静岡県、富士市の取り組み
青木 憲治 氏
静岡大学 グローバル共創科学部 准教授 /
富士市 CNF プラットフォーム会長

岡山県の取り組み
西 勝志 氏
岡山県工業技術センター 所長 /
晴れの国CNF連絡会会長

四国地域の取り組み
内村 浩美 氏
愛媛大学 紙産業イノベーションセンター長 /
四国 CNF プラットフォーム運営委員長

各地域での具体的なCNF製品化事例
北川 和男 氏
京都市産業技術研究所 研究フェロー /
ナノセルロースジャパン地域分科会長

J-Innovation HUB
バイオナノマテリアル共同研究拠点の活動
矢野 浩之 氏
京都大学生存圏研究所 教授

※パネルディスカッション含む

1月31日(水) 15:00-17:00 ナノテクで加速する量子未来産業創出

量子技術の社会実装に向けた政府および産業界の取り組み
寒川 哲臣 氏
NTT 先端技術総合研究所
常務理事
基礎・先端研究プリンシパル

理研における超伝導量子コンピュータの研究開発とクラウド公開
萬 伸一 氏
理化学研究所
量子コンピュータ研究センター
副センター長

量子業界が掲げるビジョンと量子技術の新たな応用
楊 天任 氏
QunaSys
CEO

多元素量子マテリアルを基軸とした生体イメージング技術革新
清中 茂樹 氏
名古屋大学大学院工学研究科
生命分子工学専攻 教授

量子マテリアルとしてのダイヤモンド、窒化ホウ素の合成と評価
谷口 尚 氏
物質・材料研究機構
フェロー

2月1日(木) 9:30-11:30 省エネに貢献するパワー半導体とそれを支える高放熱材料最前線

パワー半導体の現状と将来展望
齋藤 渉 氏
九州大学 応用力学研究所
新エネルギー力学部門 教授

最新パワー半導体モジュールのトレンドと性能進化の方向性
多留谷 政良 氏
三菱電機 パワーデバイス製作所
主管技師長

パワー半導体モジュールの熱マネジメントと高放熱材料
久幸 晃二 氏
レゾナック
先端融合研究所 所長

パワー半導体向け高熱伝導シート
嶋田 彰 氏
東レ
電子情報材料研究所 主任研究員

2月1日(木) 11:45-12:45 ナノ材料を基盤とした創薬・治療

RNA創薬を加速する環境応答性脂質様材料(ssPalm)
秋田 英万 氏
東北大学大学院薬学研究科 教授

デザイナーエクソソームによる免疫制御とその品質管理
華山 力成 氏
金沢大学 ナノ生命科学研究所 教授

2月1日(木) 15:00-17:00 MIはナノ材料開発をどう変化させたのか - 現状の課題と今後の展望-

汎用原子レベルシミュレータMatlantisによる計算材料科学のMI活用と課題
名児耶 彰洋 氏
Preferred Computational Chemistry
技術営業部シニアマネージャー

産業界における種々のMI活用
入江 満 氏
MI-6
CTO

ナノ材料開発におけるMIへの期待 - 新組成から新構造・新プロセスへ -
阿尻 雅文 氏
東北大学
材料科学高等研究所 名誉教授

nano tech 大賞 2024

nano tech 大賞とは

最優秀出展者として「nano tech大賞」および優秀出展者として各「部門賞」を下記の評価基準でnano tech 実行委員が審査を行い決定します。

評価基準

1. 先進性・独創性

- 技術開発の着眼点、アイデア、新規性・独創性の有無
- 基礎基盤技術、主要構成部分の技術、周辺技術、または実用化技術の確認
- 将来期待できる潜在的な効果または事業化有望性の有無

2. 商品性・市場性・経済性

- 商品化企画についてニーズへの適合性
- ビジネスモデルの新規性または優位性
- 販売実績（実績データ等）、実績がないものは販売計画（予定時期、数量、価格等）

3. その他

- 環境保全性、安全性に関し工夫した点、または配慮されている点

受賞各社と受賞理由

1. nano tech大賞 先進性/実用性/事業性などが総合的に優れており、社会/産業的な貢献も期待できる製品・技術

レゾナック（小間番号: 4B-17）

化学会社として、実現したい未来社会に貢献するGXとDXに関わる幅広い製品や最新技術を出展するとともに顧客との共創を提案。nano techのテーマ「未来のビジネスを拓く」に合致している点を賞す。

nano tech 大賞 2024

受賞各社と受賞理由

2. マテリアル賞　上記大賞に準じる製品･技術のうち、特に優れているナノ材料技術･製品

TPR（小間番号: 5K-09）

自動車部品メーカーの新規事業として、カーボンナノチューブの製造と応用展開を進めている。わずか20度の温度差でも発電するフレキシブルな熱電発電素子を開発し様々な分野への応用を目指している点を賞す。

3. アナリティクス賞　上記大賞に準じる製品･技術のうち、特に優れている計測･評価･分析技術･製品

堀場製作所（小間番号: 4F-12）

粒子解析装置などの特徴と事例の展示に加え、「次世代要素技術」と銘打ってペロブスカイト太陽電池や人工光合成のための分光分析装置などを展示している点を賞す。

4. ナノプロセス賞　上記大賞に準じる製品･技術のうち、特に優れているナノ加工技術･製品

水戸工業（小間番号: 4H-09）

先進的なセンサーを開発し、IoTやAIを用いて製品の製造工程で異物の検知や振動などを測定し、それに対応した制御を行う技術を開発した点を賞す。

5. 産学連携賞　産･学の連携によって高度な技術開発が行われ、その事業化が有望視されるもの

産業技術総合研究所 中国センター（小間番号: 4T-06）

地域の活性化を目指し、地元企業との連携で小豆の搾りかすで染色の色あせを防ぐなど、有機・バイオ材料の開発を行っている点を賞す。

6. 特別賞　海外出展者を対象とした特別賞

Korea Pavilion（小間番号:4Q-07 ）

ナノ融合国家産業団地の設置、CNTやリサイクルも視野に入れたCNFを入れた樹脂といった多彩なナノ材料の開発など、韓国のナノテクノロジー開発に関する総合的な取り組みを賞す。

7. ビジネスマッチング賞　ビジネスマッチングシステムにおけるアポイントの申込送信数や成立数が最も多く、積極的なビジネス創出に取り組んだ出展者

シュレーディンガー（小間番号: 4T-26）

ビジネスマッチングシステムを活用し、自社の保有する分子シミュレーションプラットフォームの積極的なビジネス創出に取り組んだ点を賞す。

8. GX賞　グリーントランスフォーメーションに貢献する技術

ナノセルロースジャパン（5V-11）/ 環境省NCP事業（小間番号: 5V-15）

製紙業界が中心となってコンソーシアムを組織し、セルロースナノファイバー（CNF）の技術開発と応用開発を推進。CNFを用いたコンセプトカーの展示も行った点を賞す。

9. 米国化学会賞　特別協賛社として米国化学会が独自に審査･選定

山形大学　有機エレクトロニクスイノベーションセンター（小間番号: 4L-23）

世界最先端の有機材料・ナノテクノロジー・印刷技術を基盤に、サステイナブルエレクトロニクスの実現に向けて取り組んでいる。山形大学が長年培ってきた体系化された学術と産業界の優れた開発力を融合させることで次世代のIoT社会に貢献するイノベーションを創出している。大学と企業の若手が生き生きと活動し、次代を担う場になっている点も優れているため、本賞に相応しいと判断した。

主催者企画特別展示

第5回ナノカーボンオープンソリューションフェア
共催： ナノテクノロジービジネス推進協議会（NBCI）

ナノカーボンのあらゆる用途開発のためのオープンソリューションを
コンセプトにナノカーボン材料・計測・製造プロセス等
21社が出展いたしました。

第5回ナノカーボンオープンソリューションフェア 特別講演

2024年2月2日(金) 10:30-12:15
会場:シーズ&ニーズセミナーB(東4ホール)

単層カーボンナノチューブと1次元ヘテロ構造
東京大学　大学院工学系研究科　教授
丸山 茂夫氏

カーボンナノチューブ光触媒を用いた人工光合成
富山大学　都市デザイン学部材料デザイン工学科　教授
高口 豊氏

出展者セミナー

GSIクレオスの発展するCSCNT要素技術と商品化について
GSIクレオス　ナノテクノロジー開発室

0.09ノズル、100Mpa　1パス　美粒システム with DMR, SWCNT1発解繊。水系、溶剤系をとわない。
株式会社　美粒　代表取締役
中野 満氏

出展企業	小間番号
イリス	4C-21-2
FCM	4A-20-6
カーボンフライ	4D-20
花王	4A-20-5
楠本化成	4A-20-11
高圧ガス工業	4B-23
サンアロー	4C-23-2
三洋貿易	4A-20-4
GSIクレオス	4B-20
常光	4D-24
田岡化学工業	4A-20-10
戸田工業	4A-20-2
中谷産業	4E-21
仁科マテリアル	4A-20-1
日本資材	4A-20-3
日本電気	4C-23-3
浜松カーボニクス	4E-23
美粒	4A-20-7
堀場製作所	4A-20-9
マイクロフェーズ	4C-21-3
マルバーン・パナリティカル(スペクトリス)	4A-20-8

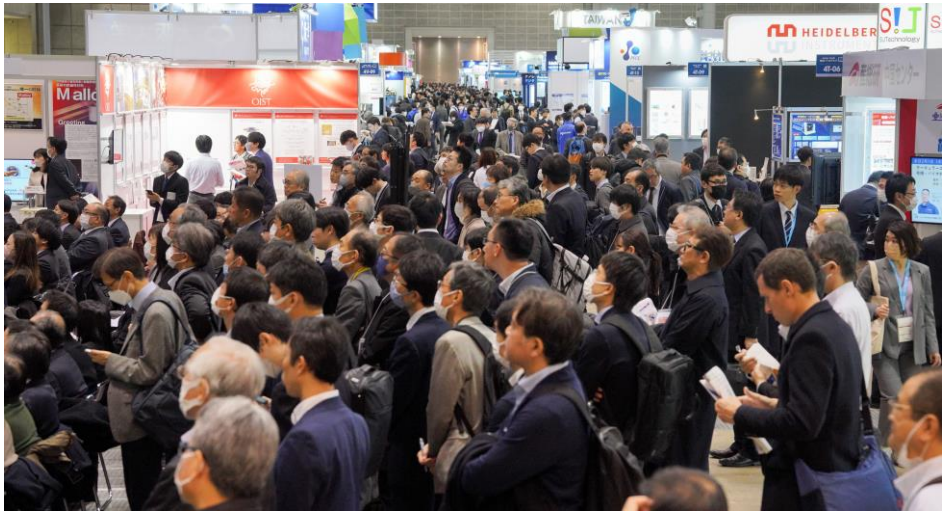
主催者企画特別展示

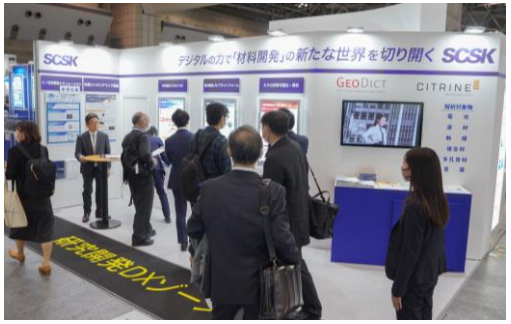
研究開発DXゾーン

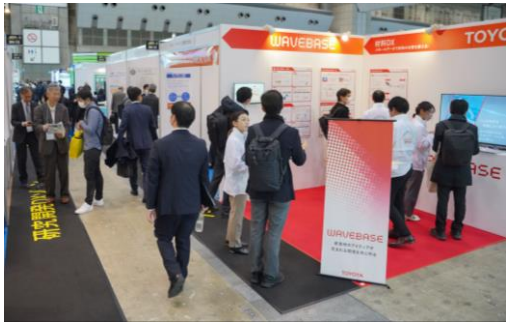
ピックアップテーマとして3年目を迎えた 研究開発DX は、特別展示から常設ゾーンとして生まれ変わり、インフォマティクス（MI / PI）関連のソリューションやAI・シミュレーションソフトウェア等、材料設計・開発をはじめとした データ駆動型研究開発 を実現する各種ソリューションを展開。隣接：新機能性材料展との合同企画として、前回を上回るエリアで実施し、来場者の方々に好評をいただきました。nano tech展では今後も研究開発の高度化を支援するため、研究開発DXを追いかけます。

【実施内容】
MIをはじめとした 研究開発DX関連の製品・ソリューションを有する企業、団体によるブース出展

出展企業	小間番号
CrowdChem	5K-13
物質・材料研究機構	5L-13
東京大学辻研究室 / プロダクト・イノベーション協会	5M-13
ダイキン工業	5N-13
トヨタ自動車	5P-13
キャトルアイ・サイエンス	5K-15
NTTデータ数理システム	5L-15
日本システム開発	5M-15
計算科学振興財団	5N-15
JSOL	5P-15
MI-6	5K-16
ダッソー・システムズ	5N-16
SCSK	5K-17





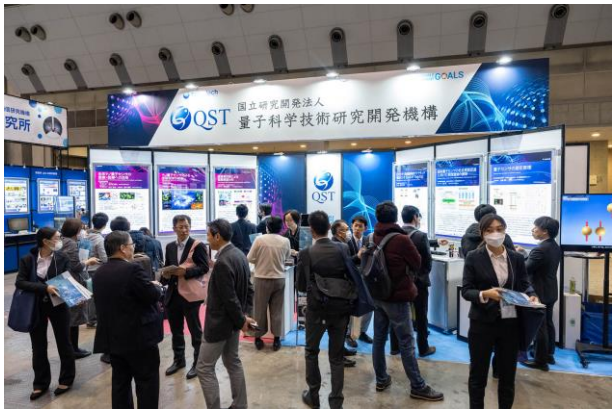


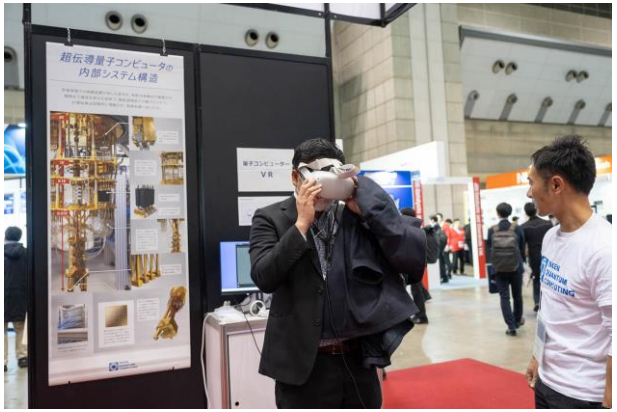
主催者企画特別展示

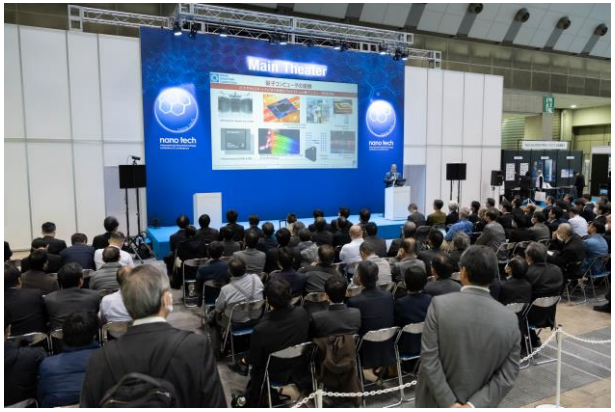
「ナノテクで加速する量子未来産業創出」量子ゾーン

量子技術イノベーション拠点（QIH）の展示を中心に特別シンポジウムとも連動し量子未来社会の実現に向けて最新の取組について紹介されました。
またブースではバーチャル空間で、量子コンピューターの分解を体験し量子コンピューターの仕組みについて学べる仮想現実（VR）コーナーの設置もあり盛況でした。
初出展の量子科学技術研究開発機構（QST）は世界をリードする生体ナノ量子センサーの紹介、ダイヤモンド量子センサのデモ機による実演を行いました。

出展社名	小間番号
量子科学技術研究開発機構	4V-21
量子技術イノベーション拠点（理化学研究所） ・量子技術イノベーション拠点中核組織 理化学研究所 ・量子コンピューテーション開拓 理化学研究所 ・量子センサ 東京工業大学 ・量子マテリアル 物質・材料研究機構 ・量子技術基盤・量子生命 量子科学技術研究開発機構 ・量子セキュリティ 情報通信研究機構 ・量子ソフトウェア研究 大阪大学 ・量子コンピュータ利活用 東京大学－企業連合 ・量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル 研究センター 産業技術総合研究所 ・量子ソリューション 東北大学 ・量子国際連携 沖縄科学技術大学院大学 ・量子化学産業創出 東海国立大学機構	4S-23







主催者企画特別展示

nanocellulose TECH ナノセルロース・テック

循環型ものづくりの鍵となる素材セルロースナノファイバー(CNF)は、軽さ、強度、耐膨張性などに優れた、植物由来の次世代素材です。またリサイクル性にも優れた特性をもち、循環型ものづくりに向けたキーマテリアルとなっています。昨年に引き続き実際の実用化・応用事例を集めたサンプル展示の他、自動車・モビリティーへの実用例としてセルロースナノファイバーを使った自動車の実機展示:環境省NCV(Nano Cellulose Vehicle)および大王製紙株式会社のCNF部材を使った電気自動車(EV)SAMURAI SPEEDが展示されました。

出展企業	小間番号
カミ商事	5V-08
川之江造機	5X-09
ナノセルロースジャパン	5V-11
・永和化成工業	
・王子ホールディングス	
・KRI	
・産業技術総合研究所	
・星光PMC	
・大王製紙	
・第一工業製薬	
・中越パルプ工業	
・東亞合成	
・西日本プラスチック製品工業協会	
・日本製紙	
・ネイチャーギフト	
・ブッス・ジャパン	
・北越コーポレーション	
・丸住製紙	
・モリマシナリー	
・吉川国工業所	
・理研ビタミン	
・レンゴー	
日本製紙	5X-08
富士市CNFプラットフォーム	5V-09
王子ホールディングス	5W-08
環境省NCP事業	5V-15
SAMURAI SPEED / 大王製紙	5S-15

主催者企画特別展示

分散プロセスソリューション‘24　（日本ディスパージョンセンター合同企画）

ハイエンドなデバイスに欠かせない材料では、粒子径が小さくなればなるほど凝集するという問題がありました。これは、ナノテクノロジーによって均一分散することが有用となります。来場者の興味がある分野として「粉砕・分散・撹拌」が上位に挙がり、粉体プロセス技術への注目が集まっている事を受け、今回、日本ディスパージョンセンターと初の合同企画を実施いたしました。ブース展示に加え、パビリオン出展者によるセミナーは好評を博しました。

出展者名	小間番号
分散プロセスソリューション’24 -日本ディスパージョンセンター-	4N-21
アイメックス	4N-21-3
プライミクス	4N-21-1
アントンパール・ジャパン	4N-21-4
協和界面科学	4N-21-6
写真化学	4N-21-8
ニッカトー	4N-21-2
マジェリカ・ジャパン	4N-21-5
LUM Japan	4N-21-7

2024年1月31日(水) 11:30-13:15 シーズ&ニーズセミナーB(東4ホール)

講演タイトル	講演者
日本ディスパージョンセンターにおける合同実験の意義と活動報告	(一社)日本ディスパージョンセンター 代表理事 武田 真一氏
ビーズミル粉砕によるエレクロニクス用スラリーの調製とin situ評価	アイメックス株式会社 五十嵐 章裕氏
リチウムイオン二次電池正極材料における分散剤がスラリー物性に与える影響	プライミクス株式会社　乳化分散技術研究所 川久保 舞子氏
自転・公転撹拌装置による電極用スラリーの調製とin situ評価	株式会社 写真化学 高岡 文彦氏
レオ・インピーダンス測定による電極スラリーの流動性と分散性の同時評価	株式会社アントンパール・ジャパン 宮本 圭介氏
セラミックスビーズを用いた粉砕・分散:ビーズ材質が被処理粉体へ与える影響	株式会社ニッカトー 古藤 野枝氏

2024年2月2日(金) 15:30-17:00 シーズ&ニーズセミナーB(東4ホール)

講演タイトル	講演者
電池およびエレクトロニクス材料開発の鍵を握る分散技術 ～ヨーロッパにおける標準化の現状～ 同時通訳	日本ディスパージョンセンター 武田 真一氏 ヨーロッパディスパージョンセンター ウォルフファブリス フェリペ氏 ドクターレルヒ株式会社 レルヒ ディートマール氏

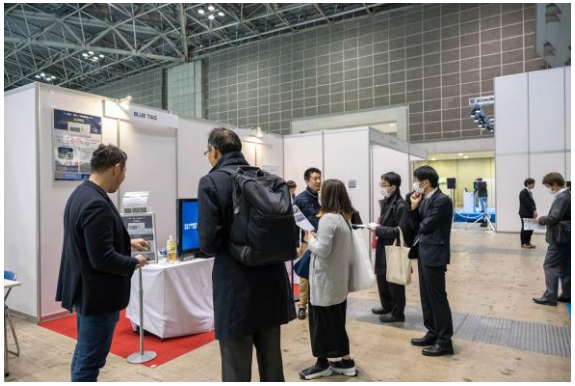
主催者企画特別展示

昨年に続き、スタートアップの持つシーズのビジネス化の実現のほか、研究と産業界のニーズをつなぐ場所としてオープンイノベーションを加速し新たなビジネスチャンスの創出を目的に実施いたしました。

スタートアップ展示

優れた技術を持つスタートアップ・ベンチャー企業の新たなビジネスチャンスを創出することを目的に企画、15分ピッチで発表いただきました。（4㎡または6㎡）

出展者名	小間番号
Makino	4W-01-1
コラボメーカー	4W-01-2
パテンティックス	4W-01-3
ALDジャパン	4W-01-4
BLUE TAG	4W-01-5



アカデミアポスターセッション

業界へ研究成果を広く公開し次の研究ヒントや共同研究先の開拓が可能なポスター展示と15分ピッチで発表いただきました。

出展者名	小間番号
帝京科学大学 山際研究室	4W-01-6
京都大学 - 熱計測･熱マネジメントニーズ探索ユニット	4W-01-7
九州大学大学院化学工学部門　三浦研究室	4W-01-9
東海国立大学機構名古屋大学	4W-01-10

nano tech 2024 特別シンポジウム関連展示

特別シンポジウムでご講演いただいた研究や材料などを展示いただき、来場者に講演、内容の理解を深めていただくために企画いたしました。

講演者	小間番号
三菱電機	4Z-09-1
東北大学	4Z-09-2
MI-6	4Z-09-3

ナノビズ・ネットワーキングレセプション

・日時： 2024年2月1日(木) 17:30-19:30
・会場： 東京ベイ有明ワシントンホテル 3階 アイリス
・主催： nano tech 実行委員会 / 一般社団法人 ナノテクノロジービジネス推進協議会

4年ぶりにナノビズ・ネットワーキングレセプションが開催されました。
当日はご来賓および国内外の出展者約400名のご参加をいただき、
ナノテクビジネス推進のためのビジネス交流の場として欠かせない行事となりました。

スポンサーとしてカナダ、オランダ、日欧産業協力センター、台湾、韓国
より各国の飲物等のご提供をいただきました。
また台北フィルハーモニー管弦楽団(TPO) カルテットによる演奏も披露されました。

Sponsored by:

DEEP TECH CANADA
CANADA
Kingdom of the Netherlands
EU-Japan Centre for Industrial Cooperation 一般財団法人 日欧産業協力センター
Nano Technology Research Association
NSTC 國家科學及技術委員會 National Science and Technology Council

セミナー一覧 https://unifiedsearch.jcdbizmatch.jp/nanotech2024/jp/sem/nanotech_mems

1月31日（水）

メインシアター　東4ホール
1月31日（水）

【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制
硫化物系全固体電池の研究開発最前線

- 9:30-10:10 **全固体電池研究の道程と最新状況**
  菅野 了次 氏
  東京工業大学 全固体電池研究センター長・特命教授
- 10:10-10:50 **全固体電池普及に向けた アルジロダイト型硫化物固体電解質の特徴と開発状況**
  高橋 司 氏
  三井金属鉱業 事業創造本部 SE事業推進ユニット 事業戦略室 室長
- 10:50-11:30 **アルジロダイト型固体電解質を用いた全固体電池の開発**
  山田 將之 氏
  マクセル 新事業統括本部 ビジネス開発部 部長

【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制
「CNFを活用した地域GXの最前線」
～CNFは脱炭素社会の実現に向けた新たな地域資源～

- 11:45-11:55 **CNFを活用した地域経済の活性化にむけた課題と解決策**
  渡邉 政嘉 氏
  ナノセルロースジャパン CNF塾長
  京都大学 生存圏研究所 特任教授・学外連携フェロー
- 11:55-12:05 **CNFの社会実装に向けた静岡県、富士市の取り組み**
  青木 憲治 氏
  静岡大学 グローバル共創科学部 准教授
  (富士市CNFプラットフォーム会長)
- 12:05-12:15 **岡山県におけるCNF実用化に向けた取組**
  西 勝志 氏
  岡山県工業技術センター 所長(晴れの国CNF連絡会会長)
- 12:15-12:25 **四国地域の取り組み**
  四国CNFプラットフォームの活動支援体制と CNF連続脱水・シート化技術の実用化事例紹介
  内村 浩美 氏
  愛媛大学 紙産業イノベーションセンター センター長
  (四国CNFプラットフォーム運営委員長)
- 12:25-12:35 **各地域での具体的なCNF製品化事例**
  北川 和男 氏
  (地独)京都市産業技術研究所
  研究フェロー(ナノセルロースジャパン地域分科会長)
- 12:35-12:45 **J-Innovation HUB**
  バイオナノマテリアル共同研究拠点の活動
  矢野 浩之 氏
  京都大学生存圏研究所 教授
- 12:45-13:45 **CNFを活用した地域経済の活性化にむけた課題と解決策**
  パネルディスカッション

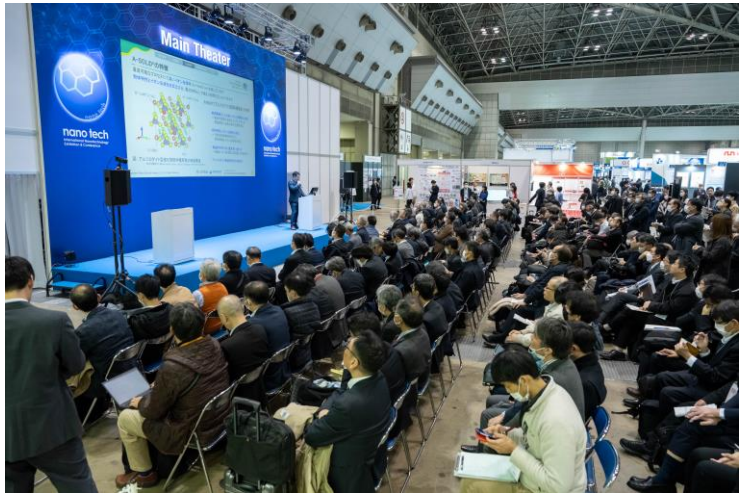
メインシアター　東4ホール
1月31日（水）

出展者セミナー

- 14:00-14:45 Taiwan Pavilion

【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制
ナノテクで加速する量子未来産業創出

- 15:00-15:25 **量子技術の社会実装に向けた政府および産業界の取り組み**
  「量子技術イノベーション戦略」・「量子未来社会ビジョン」・「量子未来産業創出戦略」の3つの政府戦略に基づく量子技術産業化に向けた取り組みの進展現状と将来展望
  寒川 哲臣 氏
  日本電信電話 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル
- 15:25-15:50 **理研における超伝導量子コンピュータの研究開発とクラウド公開**
  萬 伸一 氏
  理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 副センター長
- 15:50-16:10 **量子業界が掲げるビジョンと量子技術の新たな応用**
  楊 天任 氏
  QunaSys CEO
- 16:10-16:35 **多元素量子マテリアルを基軸とした生体イメージング技術革新**
  清中 茂樹 氏
  名古屋大学 大学院工学研究科 生命分子工学専攻 教授
- 16:35-17:00 **量子マテリアルとしてのダイヤモンド、窒化ホウ素の合成と評価**
  谷口 尚 氏
  物質・材料研究機構 フェロー



シーズ&ニーズセミナーA　東4ホール
1月31日（水）

出展者セミナー

- 11:15-11:45 **世界最高の精密水準を実現するmicroArch® 3Dプリンタシステム&MEMS 領域への応用、フラッグシップモデルS230のご紹介**
  田村 明男 氏
  BMF Japan ビジネスマネジャー
- 12:45-13:15 **電界ろ過法を用いた非接触方式のろ過技術 電界フィルター「Ele-Fil」の紹介**
  帯電微粒子と印加電極ろ板間で発生する クーロン斥力を利用した非接触方式ろ過法
  大森 一樹 氏
  三菱化工機 研究開発部 技術顧問
- 13:30-14:00 **マテリアルインフォマティクス時代に対応する ZEISS Connected Microscopy のご紹介**
  前田 悦男 氏
  カールツァイス リサーチマイクロスコピーソリューション
- 14:15-14:45 **スケールアップのためのインフォマティクス活用 -ラボスケールから工場への展開-**
  八嶋 徹 氏
  MI-6 データサイエンティスト
- 15:00-15:30 **AIによる「閲覧」を見据えた新時代における研究データ蓄積**
  永田 徹哉 氏
  ダイキン工業 電子システム事業部 営業部 データサイエンスG
- 15:45-16:15 **マテリアルズ・インフォマティクスを推進し材料開発の高速化を実現する「Citrine Platform」のご紹介**
  金子 貴大 氏
  SCSK デジタルエンジニアリング事業本部プロダクト推進部

シーズ&ニーズセミナーB　東4ホール
1月31日（水）

出展者セミナー

- 10:30-11:00 広東グランドベイエリア国家ナノテクイノベーション研究院

主催者&日本ディスパージョンセンター共同セミナー 事前登録制

- 11:30-13:15 **実用微粒子濃厚分散系のためのプロセスと評価の最前線 ー次世代エレクトロクス&二次電池に関する合同実験報告ー**
  日本ディスパージョンセンターにおける合同実験の意義と活動報告
  武田 真一 氏
  日本ディスパージョンセンター 代表理事
  ビーズミル粉砕によるエレクロニクス用スラリーの調製と in situ評価
  五十嵐 章裕 氏
  アイメックス
  リチウムイオン二次電池正極材料における分散剤が スラリー物性に与える影響
  川久保 舞子 氏
  プライミクス乳化分散技術研究所
  自転・公転撹拌装置による電極用スラリーの調製と in situ評価
  高岡 文彦 氏
  写真化学
  レオ・インピーダンス測定による電極スラリーの流動性と分散性の同時評価
  宮本 圭介 氏
  アントンパール・ジャパン
  セラミックスビーズを用いた粉砕・分散：ビーズ材質が被処理粉体へ与える影響
  古藤 野枝 氏
  ニッカトー

出展者セミナー

- 13:30-14:15 **二次電池正極材活物質の粒径制御**
  関 雄大 氏
  吉田機械興業 副部長

スタートアップ&アカデミア ピッチ

- 14:30-14:45 **高磁束密度・超低損失軟磁性材料 M alloy (エムアロイ) のご紹介 脱炭素社会へのKey Material ⇒ M alloy**
  Makino
- 14:50-15:05 **レンタルラボの活用で開発スピードに差をつける ～固定資産を持たずに最速で実験を始めよう～**
  古谷 優貴 氏
  Co-LABO MAKER 代表取締役
- 15:10-15:25 **新規次世代パワー半導体 (二酸化ゲルマニウム) と、その成膜方法であるミストCVD/ファントムSVDによる機能性成膜の可能性について**
  國枝 浩二 氏
  パテンティックス
- 15:30-15:45 **原子層堆積 (ALD) 技術の応用と弊社取扱い装置**
  百瀬 渉 氏
  ALDジャパン マネージャー
- 15:50-16:05 **～AIで突破するナノ粒子画像解析の限界～ 多角形粒子、凝集粒子、結晶粒子、ナノファイバーはじめ既存画像処理システムで解析困難な粒子・粉体・高アスペクト物質解析に対するDeep Learningによる帰納的アプローチ**
  中尾 悠基 氏
  BLUE TAG 事業開発部
- 16:10-16:25 **先端材料を、環境に優しいプロセスで創製する**
  山際 清史 氏
  帝京科学大学 山際研究室

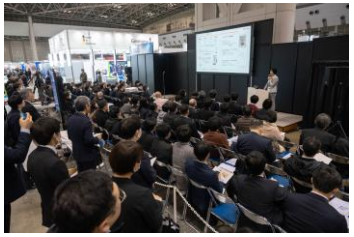
シーズ&ニーズセミナーC　東5ホール
1月31日（水）

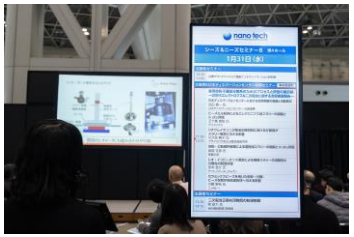
【MEMS特別シンポジウム】 事前登録制
「MEMS・半導体次世代テクノロジーフォーラム」

- 10:15-10:45 **半導体・デジタル産業戦略の現状と今後**
  清水 英路 氏　経済産業省 商務情報政策局
  情報産業課デバイス・半導体戦略室 室長
- 10:45-11:15 **産学連携MEMS研究：これまでとこれから**
  年吉 洋 氏　東京大学 生産技術研究所 教授
- 11:15-11:45 **モバイルの進化を可能にするRFフィルター技術**
  シラカワ アレクサンドレ 氏　スカイワークス・ソリューションズ
  BAW/SAWフィルター開発総括副社長
- 11:45-12:15 **産総研センシングシステム研究センターにおける センシング技術の半導体分野への展開**
  植村 聖 氏　産業技術総合研究所 九州センター所長
  センシングシステム研究センター(SSRC)研究センター長

出展者セミナー

- 12:30-14:15 **令和5年度 ARIM技術スタッフ表彰式**
  曽根 純一 氏　文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ
  プログラムディレクター
- 14:30-15:15 **ナノ粒子ミストデポジション法：環境に優しく高機能性薄膜を製造する！ ～ 無機ナノ粒子の精密デザイン・合成が切り拓く革新的な大気圧成膜法～**
  An Innovative Atmospheric Thin Film Fabrication Technique driven by Precise Design and Synthesis of Inorganic Nanoparticles.
  鬼頭 義昭 氏　ニコン 精機事業本部 FPD装置事業部 開発統括部
  先端技術開発部 第三開発課 課長
  蟹江 澄志 氏　東北大学
  国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授





セミナー覧 https://unifiedsearch.jcdbizmatch.jp/nanotech2024/jp/sem/nanotech_mems

2月1日（木）

メインシアター　東4ホール
2月1日（木）

【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制
省エネに貢献するパワー半導体とそれを支える高放熱材料最前線

- 9:30-10:00 パワー半導体の現状と将来展望
  齋藤 渉 氏
  九州大学 応用力学研究所 教授
- 10:00-10:30 最新パワー半導体モジュールのトレンドと性能進化の方向性
  多留谷 政良 氏
  三菱電機 パワーデバイス製作所 主管技師長
- 10:30-11:00 パワー半導体モジュールの熱マネジメントと高放熱材料
  久幸 晃二 氏
  レゾナック 先端融合研究所 所長
- 11:00-11:30 パワー半導体向け高熱伝導シート
  嶋田 彰 氏
  東レ 電子情報材料研究所 主任研究員

【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制
ナノ材料を基盤とした創薬・治療

- 11:45-12:15 RNA創薬を加速する環境応答性脂質様材料(ssPalm)
  秋田 英万 氏
  東北大学大学院薬学研究科 教授
- 12:15-12:45 デザイナーエクソソームによる免疫制御とその品質管理
  華山 力成 氏
  金沢大学 ナノ生命科学研究所 教授

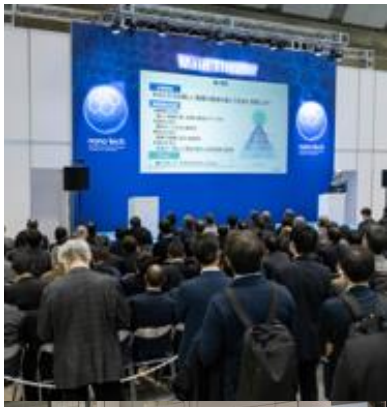
出展者セミナー

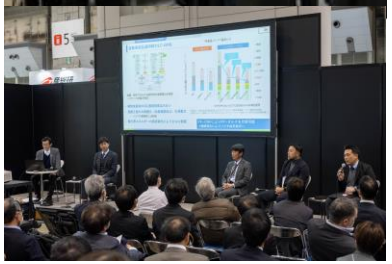
- 13:00-13:45 高速分子シミュレーションと機械学習によるナノレベルの材料開発
  森里 嗣生 氏
  シュレーディンガー マテリアルズサイエンス シニアディレクター
- 14:00-14:15 こんなこともできる! マルチモーダルAI技術 ～最新成果事例紹介～
  室賀 駿 氏
  産業技術総合研究所 ナノカーボンデバイス研究センター
- 14:15-14:30 ロボットアームを駆使したセラミックス自動実験とプロセスインフォマティクス
  山口 祐貴 氏
  産業技術総合研究所 極限機能材料研究部門
- 14:30-14:45 データ駆動型材料設計技術利用推進コンソーシアム ～秘匿計算とその応用例～
  時崎 高志 氏
  産業技術総合研究所
  機能材料コンピュテーショナルデザイン研究センター

メインシアター　東4ホール
2月1日（木）

【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制
MIはナノ材料開発をどう変化させたのか
－ 現状の課題と今後の展望－

- 15:00-15:40 汎用原子レベルシミュレータMatlantisによる計算材料科学のMI活用と課題
  名児耶 彰洋 氏
  Preferred Computational Chemistry 技術営業部 シニアマネージャー
- 15:40-16:20 ナノマテリアルにおけるマテリアルズ・インフォマティクスの応用
  入江 満 氏
  MI-6 [illegible]
- 16:20-17:00 ナノ材料開発におけるMIへの期待 － 新組成から新構造・新プロセスへ －
  阿尻 雅文 氏
  東北大学 材料科学高等研究所 リサーチプロフェッサー・名誉教授

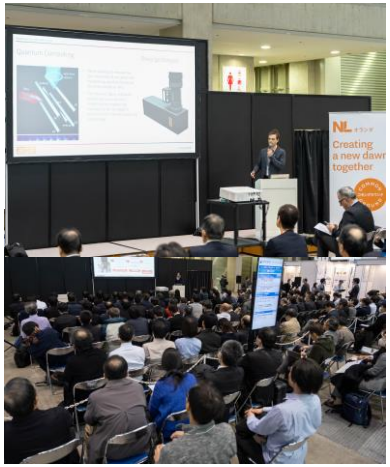




シーズ&ニーズセミナーA　東4ホール
2月1日（木）

出展者セミナー

- 11:15-11:45 マスクレスアライナー，DWL66+ で製作したサブミクロン構造の解像性へのBARC処理とBEAMER補正の効果に関する研究
  スリモンコン ティティマナン 氏
  ハイデルベルグ・インストルメンツ
- 12:00-12:30 「電線近くで発電する磁界振動発電 －Society5.0実現に向けて注目される環境発電技術－」
  村上 修一 氏
  大阪産業技術研究所 電子・機械システム研究部 研究室長
- 12:45-13:15 MEMS設計システム「CR-8000 MEMS Designer」とMEMS/パッケージ/PCB協調によるモジュール設計の革新
  小林 由一 氏
  図研 技術本部 EL開発部 EL4セクション シニアパートナー
- 13:30-14:00 大阪大学におけるナノ科学技術の研究と人材育成の御紹介
  岡本 稔 氏
  大阪大学 マテリアル先端リサーチインフラ設備供用拠点
- 14:15-14:45 樹脂コンパウンド材料におけるマテリアルズ・インフォマティクスの活用とは?
  大山 俊治 氏
  MI-6 カスタマーサクセス リーダー
- 15:00-15:30 HORIBAの先端材料を「はかる」技術!電池・カーボン・半導などの先端材料に対する分光分析、元素分析、粒子計測事例をご紹介
  小口 真弘 氏
  堀場製作所
- 15:45-16:15 3Dプリンタ（積層造形）、金属多孔質体、複合材などを対象とした高機能材領域におけるミクロスケールシミュレーションの活用事例
  尾嶋 翼 氏
  SCSK デジタルエンジニアリング事業本部プロダクト推進部



シーズ&ニーズセミナーB　東4ホール
2月1日（木）

スタートアップ&アカデミア ピッチ

- 10:20-10:35 九州大学大学院化学工学部門 三浦研究室
- 10:40-10:55 高精度3次元ナノ・マイクロスケール熱計測技術の紹介
  廣谷 潤 氏
  京都大学 - 熱計測・熱マネジメントニーズ探索ユニット
- 11:00-11:15 XPS測定時間を1/10に短縮 －スペクトル超解像解析による分光測定の高速化－
  原田 俊太 氏
  東海国立大学機構名古屋大学 未来材料・システム研究所 准教授

出展者セミナー

- 11:30-12:15 <新製品>より高粘度・大流量循環運転に対応した最新ビーズミルによるナノ分散事例 MAXナノ・ゲッター® HFM-E/HFM-S
  中島 翼 氏
  アシザワ・ファインテック 開発課 課長補佐

【NEDOセミナー】航空機エンジン材料開発のためのハイスループット金属バルク創製・評価とマテリアル・プロセス・インフォマティクス

- 12:30-13:15 【NEDOセミナー】航空機エンジン材料開発のためのハイスループット金属バルク創製・評価とマテリアル・プロセス・インフォマティクス
  廣瀬 伸吾 氏
  産業技術総合研究所 製造技術研究部門 上級主任研究員

【NEDOセミナー】プロセス・インフォマティクスの最前線 ～機能性材料の合成と製造プロセス～

- 13:30-14:15 【NEDOセミナー】デジタル駆動化学・プロセスインフォマティクスによる合成プロセス設計技術
  山口 徹 氏
  TSテクノロジー 経営企画室 代表取締役
  【NEDOセミナー】セラミックスの製造プロセスインフォマティクス技術の開発と課題
  木村 禎一 氏
  ファインセラミックスセンター 材料技術研究所
  主席研究員 先進プロセス設計グループ・グループ長

【NEDO パネルディスカッション】私たちがCNFを使うワケ

- 14:30-15:15 【NEDOセミナー】私たちがCNFを使うワケ
  八尾 滋 氏　新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
  CNF事業プロジェクト プロジェクトリーダー
  パネリスト 川邊 伸夫 氏
  大建工業 R&Dセンター 所長
  原田 久 氏
  ヤマハ発動機 生産技術本部 材料技術部 部長
  菊池 康紀 氏
  東京大学 未来ビジョン研究センター 准教授
  立石 純一郎 氏
  アシックス スポーツ工学研究所 プロダクト機能研究部 部長

出展者セミナー

- 15:30-16:15 高濃度・高純度オゾンが切り開く次世代アプリケーション
  篠 竜徳 氏
  明電ナノプロセス・イノベーション 技術開発室 技師
- 16:30-17:00 カナダのナノテク、AI、量子研究最前線
  ウォーキンティン ジャニス 氏
  ディープテック・カナダ

シーズ&ニーズセミナーC　東5ホール
2月1日（木）

出展者セミナー

- 10:30-11:15 オランダ・バビリオンの自己紹介 半導体、量子技術・フォトニックスのオランダの強さ
  ヴァン・コーイ エリック 氏
  オランダ大使館 イノベーション・科学技術 参事官
  オランダ バビリオン

サーキュラーエコノミーに向けた産総研中国センター有機・バイオ材料拠点の取組み

- 11:30-11:45 有機・バイオ材料拠点の概要と狙い
  佐藤 浩昭 氏
  産業技術総合研究所 中国センター 所長
  機能化学研究部門 研究部門長
- 11:45-12:00 プロセスインフォマティクス（PI）技術による高性能高分子複合材料の開発
  榊原 圭太 氏
  産業技術総合研究所 機能化学研究部門 セルロース材料グループ
  研究グループ長
- 12:00-12:15 プラスチックのマテリアルリサイクルにおける材料診断技術の役割
  渡邊 宏臣 氏
  産業技術総合研究所 機能化学研究部門 有機材料診断グループ
  主任研究員

ナノセルロースジャパン特別講演

- 12:30-13:15 セルロースナノファイバー（CNF）のヒストリーと今後のバッテリー事業への応用展開を知財情報で読み解く
  中山 英比古 氏
  中光光学出版
  PatSnapソリューション・カスタマーサクセスチーム 執行役員

TIA MEMS ウィンターセミナー／MEMS講習会「MEMS分野の注目技術」 事前登録制

- 13:30-14:00 極薄MEMSハプティック素子によるリモート触覚伝達システムの開発
  竹井 裕介 氏
  産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター
  ハイブリッドセンシングデバイス研究チーム長
- 14:00-14:30 指先の手触り感を見える化する技術：シリコンMEMSナノ触覚センサ
  高尾 英邦 氏
  香川大学 創造工学部 教授

研究開発プロジェクト成果報告会／SSN研究会公開シンポジウム 事前登録制

- 14:45-15:15 シリコンを基材に利用した赤外光センサの展開
  菅 哲朗 氏
  電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授
- 15:15-15:45 血中成分モニターデバイスの研究開発 ～タニタのビジョンと商品開発の方向性～
  蔦谷 孝夫 氏
  タニタ 事業戦略本部 開発部コア技術研究所 部長

MEMS協議会フォーラム 事前登録制

- 16:00-16:40 我が国MEMS事業者の動向に関する調査報告
  長谷川 英一 氏
  マイクロマシンセンター 専務理事

セミナー一覧 https://unifiedsearch.jcdbizmatch.jp/nanotech2024/jp/sem/nanotech_mems

2月2日（金）

メインシアター　東4ホール
2月2日（金）

ACS Publications Summit 事前登録制

9:30-13:45	ACS Publications Summit アメリカ化学会

nano tech 大賞

14:00-14:45	nano tech大賞受賞式

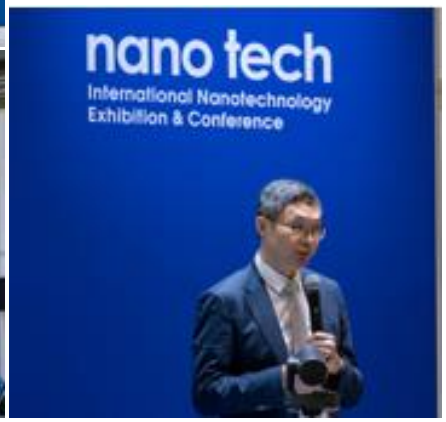
出展者セミナー

15:00-15:10	NBCI の活動と会員サービス 石井 伸晃 氏 ナノテクノロジービジネス推進協議会（NBCI）事務局 事務局長
15:10-15:45	レゾナックの CN/DX 戦略 ～R&D での CN/DX への取組み実例紹介～ 福島 正人 氏 レゾナック・ホールディングス 執行役員、最高技術責任者(CTO)

シーズ＆ニーズセミナーA　東4ホール
2月2日（金）

出展者セミナー

11:15-11:45	HORIBA の粒子計測技術!先端材料・医薬品の評価事例や粒子計測の自動化システムについてご紹介 屋敷 尚汰 氏 堀場製作所
12:45-13:15	材料設計のためのDXソリューションのご紹介 渡辺 麻衣子 氏 JSOL エンジニアリング事業本部
13:30-14:00	深海インスパイアード化学：ナノテクノロジーの新たなフロンティア 深海の探索から生まれる未来のイノベーション 出口 茂 氏 海洋研究開発機構 生命理工学センター センター長
14:15-14:45	半導体領域におけるマテリアルズ・インフォマティクスの活用 -レジスト材料の探索、CMP の条件最適化編- 小島 秀平 氏 MI-6
15:00-15:30	日立ハイテク3D計測ソリューションSEM/AFM/CSI（用途に応じた測定範囲と+αの機能で実現する多角的解析） 柴原 順治 氏 日立ハイテク
15:45-16:15	熱マネジメントを実現する複合材の配合最適化手法のご紹介 ～GeoDict × Citrine Platform連成～ 金子 貴大 氏 SCSK デジタルエンジニアリング事業本部プロダクト推進部



シーズ＆ニーズセミナーB　東4ホール
2月2日（金）

第5回ナノカーボンオープンソリューションフェア 特別講演

10:30-11:30	単層カーボンナノチューブと1次元ヘテロ構造 丸山 茂夫 氏 東京大学 大学院工学系研究科 教授
11:30-12:15	カーボンナノチューブ光触媒を用いた人工光合成 高口 豊 氏 富山大学 都市デザイン学部材料デザイン工学科 教授
12:15-12:30	GSIクレオスの発展するCSCNT要素技術と商品化について GSIクレオス ナノテクノロジー開発室
12:30-12:45	0.09ノズル、100Mpa 1パス 美粒システム with DMR, SWCNT1発解繊。水系、溶剤系をとわない。 中野 満 氏 美粒 代表取締役

出展者セミナー

13:30-14:15	材料からバイオまで。名古屋大学の設備で研究開発しませんか? 大住 克史 氏 ARIM 次世代バイオマテリアル拠点 名古屋大学
14:30-15:15	実験／解析データの利活用及びAI化を進めてR&Dに革新を! データ分析・AI活用を進める上で必要となる準備と環境 上島 豊 氏 キャトルアイ・サイエンス 代表取締役

主催者&日本ディスパージョンセンター共同セミナー
電池およびエレクトロニクス材料開発の鍵を握る分散技術 ～ヨーロッパにおける標準化の現状～ 事前登録制・同時通訳

15:30-17:00

1）主旨説明
武田 真一 氏
日本ディスパージョンセンター

2)“Project BATMACHINE: Boosting Europe's battery cell manufacturing by developing optimized machinery with intelligent control”
Speaker: Dr.-Ing. Felipe Wolff Fabris
(European Center for Dispersion Technologies EZD / SKZ)

3)「日本ディスパージョンセンターの活動と電極スラリー等濃厚分散系に関する合同実験の紹介」
武田 真一 氏
日本ディスパージョンセンター

4) “Development of certified (size, concentration) reference particles.”
Speaker: Prof.Dr. Dietrmar Lerche
(Dr. Lerche KG, Berlin and LUM GmbH, Berlin)

5) “Standardization of HSP-Method with the example of Carbon Black for batteries ”
Speaker: Prof.Dr. Dietrmar Lerche
(D.Lerche KG, Berlin)

6) 閉会の挨拶
武田 真一 氏
日本ディスパージョンセンター

シーズ＆ニーズセミナーC　東5ホール
2月2日（金）

出展者セミナー

11:30-12:15	公立千歳科学技術大学のARIM施設におけるバイオポリマー系ハイブリッド材料の作製とその総合的特性評価 カートハウス オラフ 氏 公立千歳科学技術大学／ホトニクスワールドコンソーシアム 理工学部 応用化学生物学科 教授

サーキュラーエコノミーに向けた産総研中国センター有機・バイオ材料拠点の取組み

12:30-12:45	有機・バイオ材料拠点の概要と狙い 佐藤 浩昭 氏 産業技術総合研究所 中国センター 所長 機能化学研究部門 研究部門長
12:45-13:00	プロセスインフォマティクス（PI）技術による高性能高分子複合材料の開発 榊原 圭太 氏 産業技術総合研究所 機能化学研究部門 セルロース材料グループ 研究グループ長
13:00-13:15	プラスチックのマテリアルリサイクルにおける材料診断技術の役割 渡邊 宏臣 氏 産業技術総合研究所 機能化学研究部門 有機材料診断グループ 主任研究員

ナノセルロースジャパン特別講演

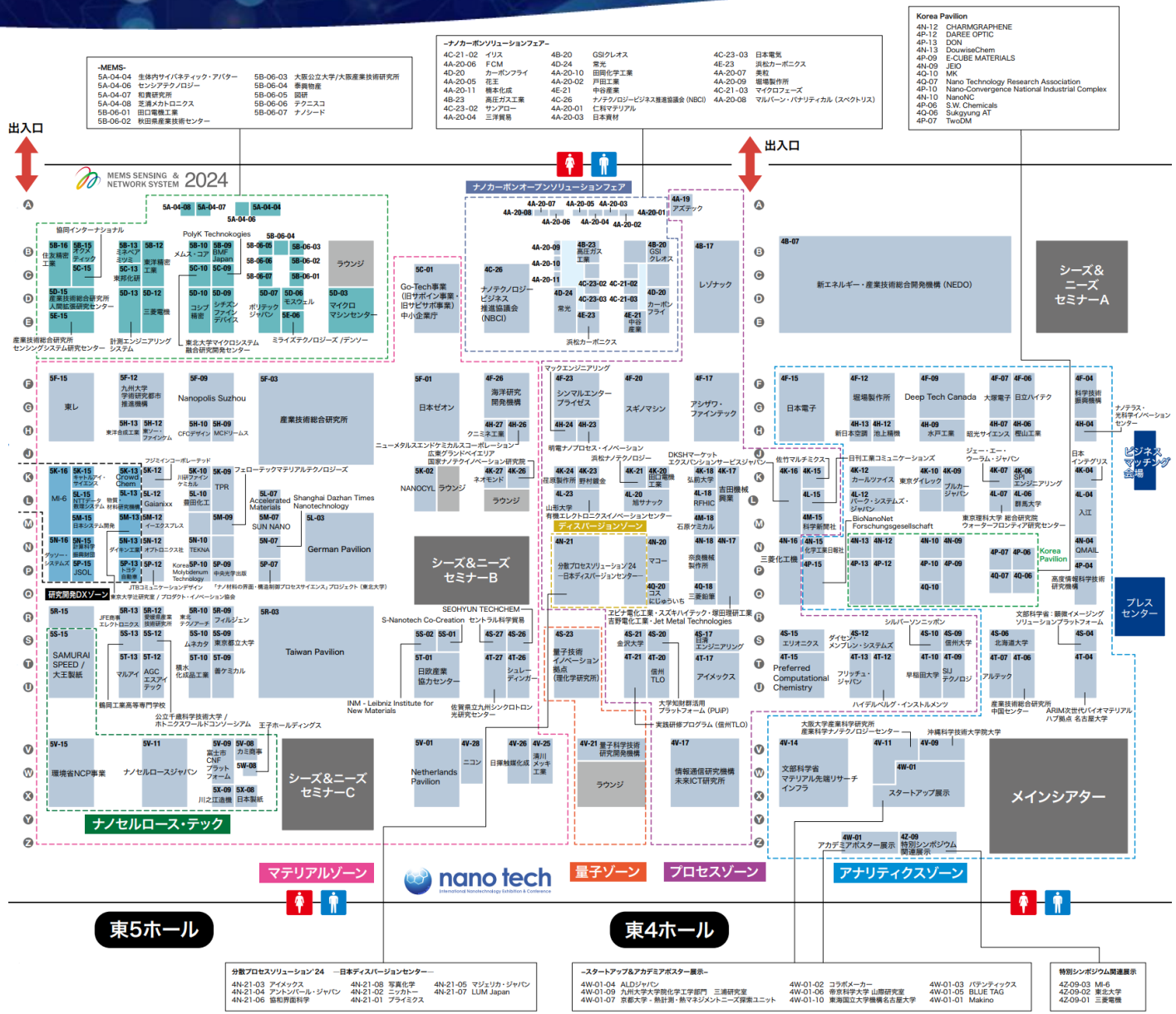
13:30-14:15	LCAで紐解くセルロースナノファイバー（CNF）の効果 澤村 翔太 氏 サステナブル経営推進機構

出展者セミナー

14:30-15:15	水晶振動子を用いた力センサ技術とその応用，展望 杉浦 広峻 氏　東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻 産業システム工学講座 新井研究室(計測エンジニアリングシステム)

会場レイアウト

https://www.nanotechexpo.jp/main/pdf/nanotech2024_floormap_j.pdf



出展者一覧

https://unifiedsearch.jcdbizmatch.jp/nanotech2024/jp/nanotech/list

	出展者名	小間番号
あ	アイメックス	4T-17
	旭サナック CAST Doi Laboratory 名古屋電気学園　愛知工業大学	4L-20
	アシザワ・ファインテック	4F-17
	アズテック 弁理士法人アズテックIP	4A-19
	アルテック バイオリン サイエンティフィック	4T-07
	イーエクスプレス	5M-12
	池上精機	4H-12
	石原ケミカル	4M-18
	入江	4L-04
	イリス	4C-21-2
	ALDジャパン	4W-01-4
	AGCエスアイテック	5T-12
	ARIM次世代バイオマテリアル　ハブ拠点　名古屋大学	4T-04
	SIJテクノロジ	4T-09
	SCSK	5K-17
	S-Nanotech Co-Creation	5S-01
	SPIエンジニアリング	4K-06
	NTTデータ数理システム	5L-15
	荏原製作所	4K-24
	エビナ電化工業 塚田理研工業 吉野電化工業 スズキハイテック ジェットメタルテクノロジーズ	4N-17
	愛媛県産業技術研究所	5R-12
	FCM	4A-20-6
	MI-6	5K-16
	MI-6	4Z-09-3
	MCドリームス	5H-09
	エリオニクス	4S-15
	王子ホールディングス	5W-08
	大阪大学　産業科学研究所　産業科学ナノテクノロジーセンター 大阪大学エマージングサイエンスデザインR3センター	4V-11
	大塚電子	4F-07
	沖縄科学技術大学院大学	4V-09
	オプトロニクス社	5N-12
か	カーボンフライ	4D-20
	カールツァイス	4K-12
	Gaianixx JX金属	5L-12
	海洋研究開発機構	4F-26
	花王	4A-20-5
	科学技術振興機構	4F-04
	化学工業日報社	4N-15
	科学新聞社	4M-15
	樫山工業	4H-06
	金沢大学	4S-21
	カミ商事	5V-08
	川研ファインケミカル	5K-10

	出展者名	小間番号
	川之江造機	5X-09
	環境省NCP事業	5V-15
	キャトルアイ・サイエンス	5K-15
	九州大学学術研究都市推進機構 九州先端科学技術研究所 有機光エレクトロニクス実用化開発センター（i³-opera） KOALA Tech	5F-12
	九州大学大学院化学工学部門　三浦研究室	4W-01-9
	QMAIL	4N-04
	京都大学 - 熱計測・熱マネジメントニーズ探索ユニット	4W-01-7
	清川メッキ工業	4V-25
	楠本化成	4A-20-11
	クニミネ工業	4H-27
	CrowdChem	5K-13
	群馬大学	4L-06
	計算科学振興財団	5N-15
	文部科学省：顕微イメージングソリューションプラットフォーム	4S-04
	高圧ガス工業	4B-23
	高度情報科学技術研究機構	4P-04
	公立千歳科学技術大学 / ホトニクスワールドコンソーシアム 公立千歳科学技術大学	5S-12
	Go-Tech事業（旧サポイン事業・旧サビサポ事業）中小企業庁 愛媛製紙 カナック 五合 ゼネラル プラズマイオンアシスト 水谷ペイント	5C-01
	鶴岡工業高等専門学校	5S-13
	コスにじゅういち	4Q-20
	コラボメーカー	4W-01-2
さ	佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター	4T-27
	佐竹マルチミクス	4K-15
	SAMURAI SPEED / 大王製紙	5S-15
	サンアロー	4C-23-2
	産業技術総合研究所	5F-03
	産業技術総合研究所 中国センター 山口県産業技術センター 島根県産業技術センター 岡山県工業技術センター	4T-06
	三洋貿易	4A-20-4
	GSIクレオス	4B-20
	CFCデザイン	5H-10
	JFE商事エレクトロニクス	5R-13
	JSOL	5P-15
	ジェー・エー・ウーラム・ジャパン	4K-07
	実践研修プログラム（信州TLO） 東京薬科大学 東京都立大学 宇都宮大学 富山大学 宮崎大学 情報通信研究機構	4T-21

	出展者名	小間番号
	シュレーディンガー	4T-26
	常光	4D-24
	昭光サイエンス	4H-07
	情報通信研究機構　未来ICT研究所	4V-17
	シルバーソンニッポン	4S-10
	新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 仁科マテリアル／東京理科大学／理化学研究所／筑波大学 タニタ コニカミノルタ／ワイエイシイホールディングス ／産業技術総合研究所／埼玉大学 ヤマシンフィルタ 東北大学／アストロデザイン／フジキン シャープ／ダイナコム／大阪大学／鳥取大学／理化学研究所 産業技術総合研究所 大阪大学／神戸大学／産業技術総合研究所 分子ロボット総合研究所 アーカイラス 島田理化工業 名古屋大学 産業技術総合研究所 大阪大学／日本メクトロン 立命館大学 産業技術総合研究所 福井大学 花王 日本製紙 大王製紙／芝浦機械 星光PMC スギノマシン 大建工業／利昌工業 美津濃／第一工業製薬／大阪産業技術研究所／広島大学 高エネルギー加速器研究機構（KEK）／産業技術総合研究所 アグロデザイン・スタジオ フルヤ金属／東北大学／物質・材料研究機構（NIMS） 産業技術総合研究所／TSテクノロジー 浮間合成 ／大日精化工業 奈良先端科学技術大学院大学／JSR／慶應義塾 技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構（TRAFAM） 産業技術総合研究所／ファインセラミックスセンター／村田製作所／京セラ株式会社／太陽誘電／AGC／日本特殊陶業／日本ガイシ／TOTO／ノリタケカンパニーリミテド OOYOO 東北大学 神戸大学／広島大学／岡山大学／日東電工／イーセップ／日清食品ホールディングス／日本リファイン 岡山大学　学術研究院　環境生命自然科学学域 産業技術総合研究所 川崎重工業 川崎重工業 マツダ ジャムコ 新明和工業 東レ 三菱重工業 住友化学	4B-07

	出展者名	小間番号
	産業技術総合研究所／太陽鉱工 日本ゼオン／横浜ゴム Thermalytica／ 物質・材料研究機構（NIMS） エーアイシルク 量子科学技術研究開発機構 石福金属興業／東京理科大学 産業技術総合研究所 テックラボ	
	信州大学	4S-09
	信州TLO	4T-20
	新日本空調	4H-13
	シンマルエンタープライゼス	4F-23
	スギノマシン	4F-20
	積水化成品工業	5T-10
	善ケミカル	5T-09
	セントラル科学貿易	4S-27
た	大学知財群活用プラットフォーム（PUiP） 神奈川大学 芝浦工業大学 東京電機大学 日本原子力研究開発機構 筑波大学 横浜国立大学 埼玉大学 新潟大学 東京理科大学 信州TLO	4S-20
	ダイキン工業	5N-13
	ダイセン・メンブレン・システムズ	4S-12
	田岡化学工業	4A-20-10
	田口電機工業	4K-20
	中央光学出版	5P-09
	DKSHマーケットエクスパンションサービスジャパン	4K-16
	TPR	5K-09
	帝京科学大学 山際研究室	4W-01-6
	東海国立大学機構名古屋大学	4W-01-10
	東京ダイレック	4K-10
	東京都立大学	5S-09
	東京理科大学 総合研究院 ウォーターフロンティア研究センター	4L-07
	東ソー・ファインケム	5H-12
	東北大学	4Z-09-2
	東北テクノアーチ	5R-10
	東洋合成工業	5H-13
	東レ	5F-15
	戸田工業	4A-20-2
	豊田化工	5L-10
	トヨタ自動車	5P-13
な	中谷産業	4E-21
	「ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス」プロジェクト（東北大学）	5P-07
	ナノセルロースジャパン 王子ホールディングス 大王製紙 吉川国工業所 東亞合成 KRI	5V-11

出展者一覧

https://unifiedsearch.jcdbizmatch.jp/nanotech2024/jp/nanotech/list

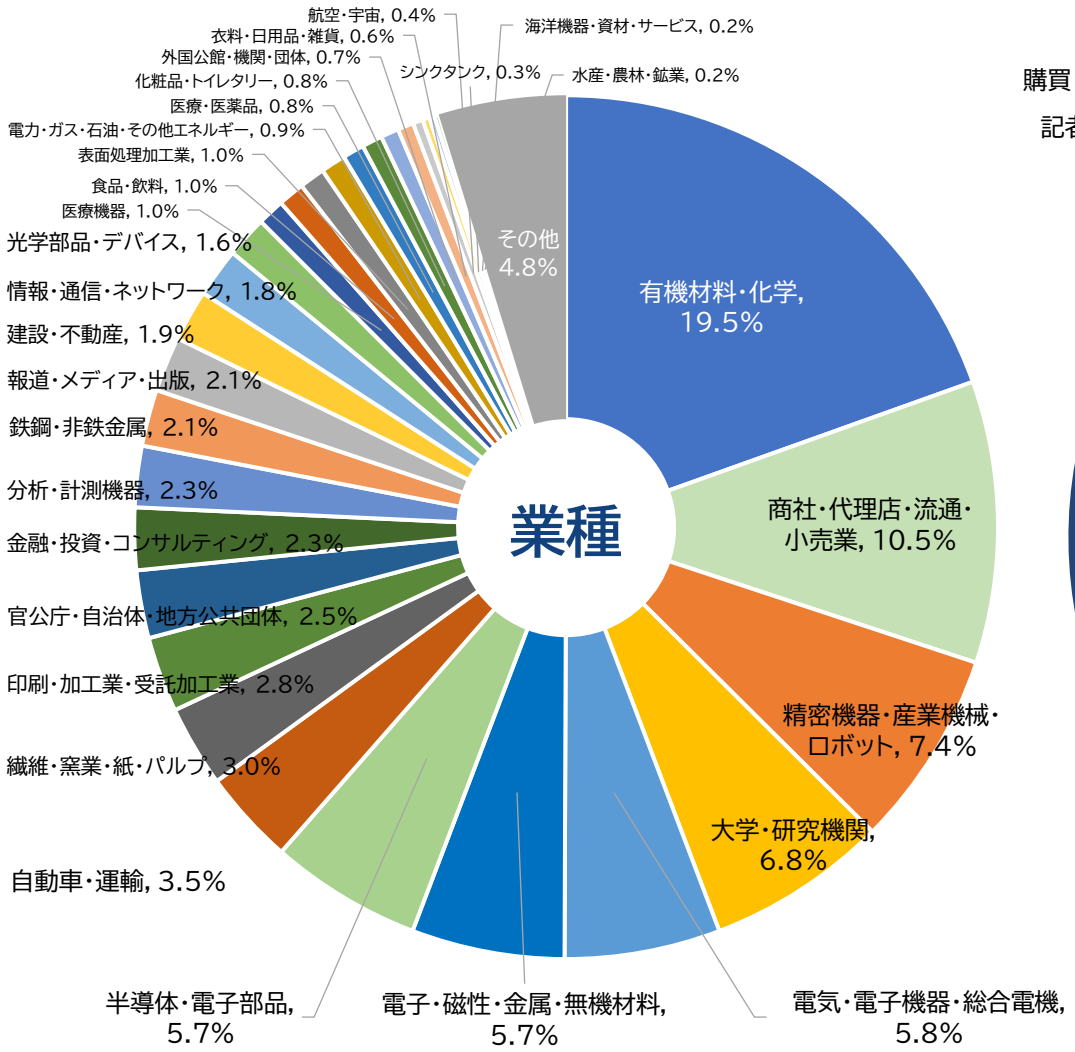
	出展者名	小間番号
	日本製紙 第一工業製薬 モリマシナリー 理研ビタミン レンゴー 星光PMC ブッス・ジャパン 丸住製紙 ネイチャーギフト 中越パルプ工業 西日本プラスチック製品工業協会 北越コーポレーション 永和化成工業 産業技術総合研究所	
	ナノテクノロジービジネス推進協議会（NBCI）	4C-26
	ナノテラス・光科学イノベーションセンター	4H-04
	奈良機械製作所	4N-18
	ニコン	4V-28
	仁科マテリアル	4A-20-1
	日刊工業コミュニケーションズ	4L-15
	日揮触媒化成	4V-26
	日清エンジニアリング	4S-17
	日本資材	4A-20-3
	日本製紙	5X-08
	日本ゼオン	5F-01
	日本電気	4C-23-3
	日本インテグリス	4K-04
	日本電子	4F-15
	ニューメタルスエンドケミカルスコーポレーション Graphenea Semiconedcutor	4H-26
	野村鍍金	4K-23
は	パーク・システムズ・ジャパン	4L-12
	ハイデルベルグ・インストルメンツ	4T-12
	パテンティックス	4W-01-3
	浜松カーボニクス	4E-23
	浜松ナノテクノロジー	4K-21
	日立ハイテク	4F-06
	美粒	4A-20-7
	弘前大学	4K-18
	フィルジェン	5R-09
	フェローテックマテリアルテクノロジーズ	5M-09
	富士市CNFプラットフォーム	5V-09
	フジミインコーポレーテッド	5K-12
	物質・材料研究機構	5L-13
	フリッチュ・ジャパン	4T-13
	Preferred Computational Chemistry	4T-15
	BLUE TAG	4W-01-5
	ブルカージャパン	4K-09
	分散プロセスソリューション'24 -日本ディスパージョンセンター- アイメックス プライミクス アントンパール・ジャパン 協和界面科学 写真化学 ニッカトー	4N-21

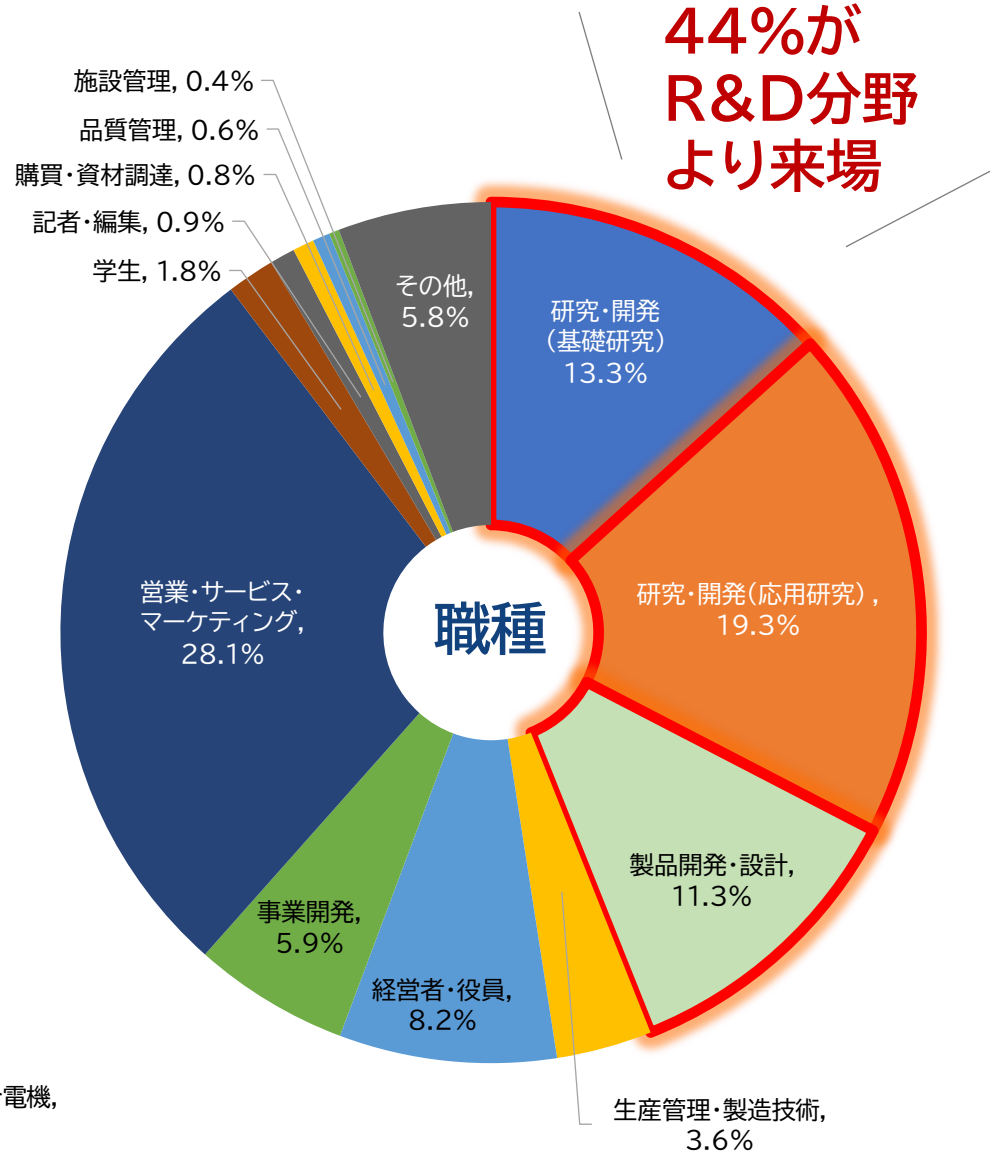
	出展者名	小間番号
	マジェリカ・ジャパン LUM Japan	
	北海道大学	4S-06
	堀場製作所	4F-12
	堀場製作所	4A-20-9
ま	マイクロフェーズ	4C-21-3
	Makino	4W-01-1
	マコー	4N-20
	マックエンジニアリング	4H-24
	マルアイ	5T-13
	マルバーン・パナリティカル(スペクトリス)	4A-20-8
	三菱鉛筆	4Q-18
	三菱化工機	4N-16
	三菱電機	4Z-09-1
	水戸工業	4H-09
	ムネカタ	5S-10
	明電ナノプロセス・イノベーション	4H-23
	文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ	4V-14
や	山形大学　有機エレクトロニクスイノベーションセンター	4L-23
	吉田機械興業	4K-17
ら	量子科学技術研究開発機構	4V-21
	量子技術イノベーション拠点(理化学研究所)	4S-23
	レゾナック	4B-17
わ	早稲田大学	4T-10
海外	Accelerated Materials	5L-07
	BioNanoNet Forschungsgesellschaft c-sense Materials Center Leoben Forschung nanoNE-Austria Silicon Austria Labs GmbH STRATEC Consumables Sunplugged	4P-15
	Deep Tech Canada (formerly NanoCanada) Agriculture and Agri-Food Canada (AAFC) Applied Quantum Materials Inc. Edmonton Global Gene Bio Medical Invest Alberta NGen Performance BioFilaments Inc Tangho Green Canada Trade Commissioner Service, Embassy of Canada in Japan Waterloo Institute for Nanotechnology	4F-09
	日欧産業協力センター Calyxia GraphenePioneer Linari Nanotech Nanocyl Nanospace Technology Nanotechnology Industries Association NanoTrade SmartMembranes	5T-01

	出展者名	小間番号
	SON エンタープライズ・ヨーロッパ・ネットワーク（EEN） ホライズンヨーロッパ情報提供窓口　NCP Japan	
	German Pavilion Bavarian Research Alliance European Center for Dispersion Technologies (EZD) Fraunhofer Institute for Electronic Nano Systems ENAS Keeling & Walker LAUS LUM Nano in Germany nEcoTox Networks Cluster Nanotechnology Sensalight Technologies Siemens Energy Global Zoz-TDC Center Sendai	5L-03
	INM - Leibniz Institute for New Materials	5S-02
	Korea Molybdenum Technology Korea Nano Molybdenum Technology	5P-10
	韓国パビリオン	
	CHARMGRAPHENE Co., Ltd.	4N-12
	DAREE OPTIC	4P-12
	DON Co., Ltd.	4P-13
	DouwiseChem	4N-13
	E-CUBE MATERIALS	4P-09
	JEIO Co., Ltd.	4N-09
	MK Co.,Ltd	4Q-10
	Nano Technology Research Association	4Q-07
	Nano-Convergence National Industrial Complex	4P-10
	NanoNC	4N-10
	S.W. Chemicals. Co., Ltd.	4P-06
	Sukgyung AT Co., Ltd.	4Q-06
	TwoDM	4P-07
	NANOCYL	5K-02
	Nanopolis Suzhou 希科半導体科技(蘇州)有限公司 Suzhou Silver Mars New Materials Technology Co.,Ltd.	5F-09
	ネオモンド	4K-27
	Netherlands Pavilion 1NA Amsterdam Scientific Instruments Holst Centre IVX4 MESA+ Institute Qblox Quantum Delta NL Quantware SCIL NanoImprint Solutions Tempress Systems TeraNova VSPARTICLE	5V-01
	RFHIC	4L-18
	SEOHYUN TECHCHEM	4S-26
	Shanghai Dazhan Times Nanotechnology	5N-07

	出展者名	小間番号
	SUN NANO ACI Materials QNA Technology	5M-07
	Taiwan Pavilion AimCore Technology Biomedical Translation Research Center (BioTReC), Academia Sinica Center for Nanoscience and Nanotechnology, National Sun Yat-sen University Core Facility Center, National Cheng Kung University Department of Chemical Engineering, National Taiwan University Department of Materials Science and Engineering, National Cheng Kung University Graduate Institute of Biomedical Optomechatronics, Taipei Medical University Harvard Medical School Mclean Hospital / Taipei Medical University Shuang-Ho Hospital HOU CHI CHEMICAL Institute of Biomedical Sciences, Academia Sinica Just Nanotech Luxor Thermal Material and Chemical Research Laboratories, Industrial Technology Research Institute Molsentech Nanovie National Chung Hsing University National Chung Hsing University National Taiwan University of Science and Technology ProTrusTech STRONG NANO TECH ZANY Materials Technology	5R-03
	TEKNA	5N-10
	広東グランドベイエリア国家ナノテクイノベーション研究院	4K-26

来場者分析（業種・職種） 東京ビッグサイト来場者

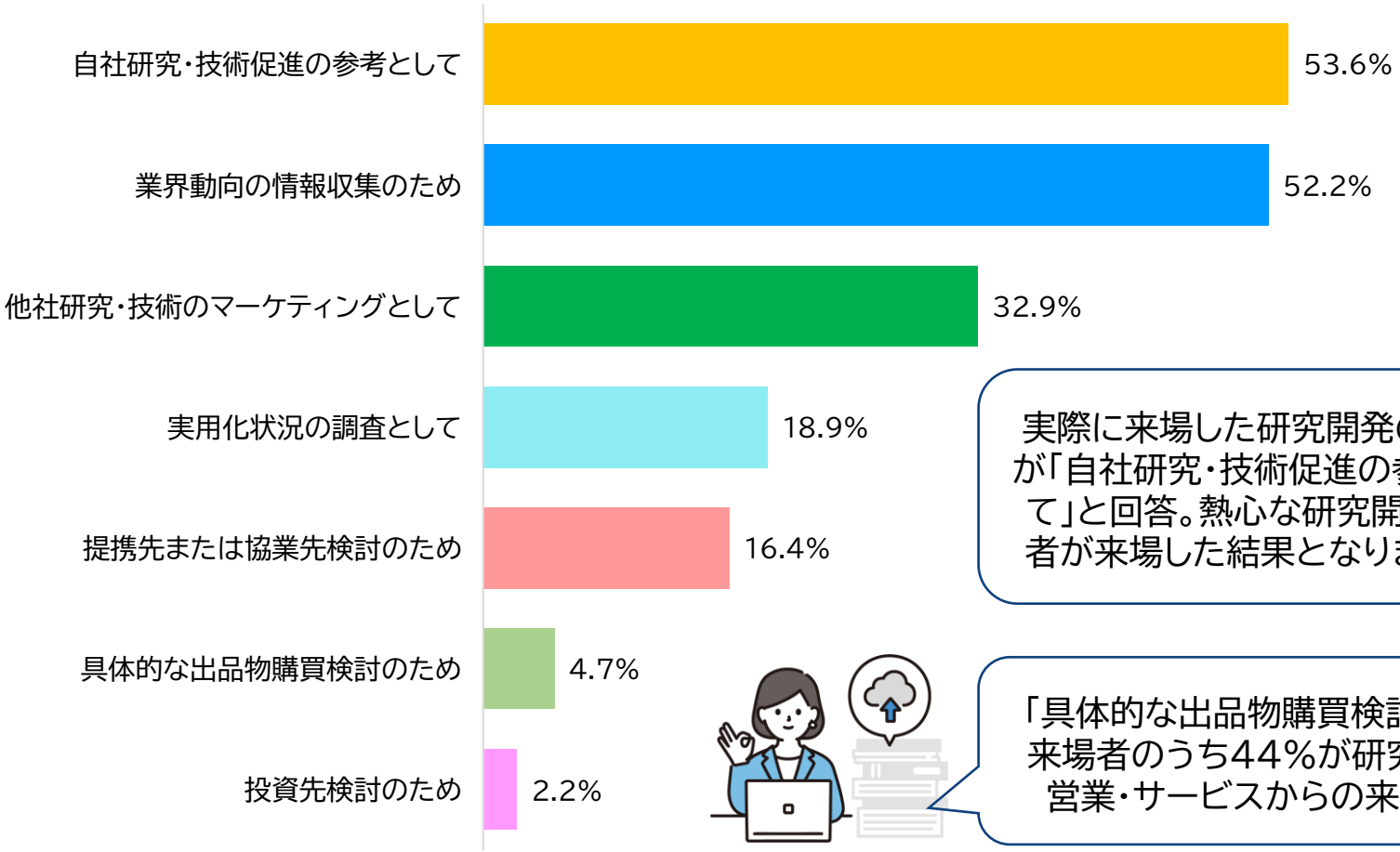




44%がR&D分野より来場

来場者分析（来場目的）

自社研究に向けた、技術を探している来場者が5割以上



実際に来場した研究開発の81%が「自社研究・技術促進の参考として」と回答。熱心な研究開発従事者が来場した結果となりました。

「具体的な出品物購買検討のため」と回答した来場者のうち44%が研究開発分野、24%が営業・サービスからの来場者となりました。

広報（主催者発信ツール・広告/記事掲載）

主催者発信ツール

来場案内　100,000 部 以上

発送のほか出展者毎に発行できる“E-招待状” によってどこからでもアクセスできるようにしました

招待状

E-招待状

事務局メルマガ　54,000 名

会期前・会期中・オンライン展示に発信し、来場動員に寄与しました。（平均：毎日、会期1週間前には毎日2回ペース

出展者取材特集　Nano Insight Japan

新出展者や注目の出展製品・技術について事前取材、ブース来場を促進しました

プレスリリース

記者発表日と会期1週間前に発行、公官庁やPR TIMESで公開しました

広告/記事掲載

読者層に合わせた広告を展開。紙誌媒体のほか、デジタル広告では、初めてYoutube広告を展開しました

【2024年1月開催】nano tech 2024 来場登録受付中

19万 回視聴・1 か月前

日刊工業新聞・日経産業新聞・ニュースイッチ・アドコムメディア・化学工業日報・科学新聞社・オプトロニクス社・新製品情報・Q-Mail・イーエクスプレスなど

プレス来場　約300 名

展示会におけるサステナビリティの取り組み

当社JTBコミュニケーションデザインは展示会主催・運営会社として、サステナブルな展示会の開催を推進しています。
サステナビリティ方針、調達コード、運用方法など企画の段階から提案を行い、主催者である企業・団体のサステナビリティの実現に向けた積極的な取り組み支援を行っています。業界の従来型のエコシステムだけでなく、地域社会とも連携しながら、持続可能な社会の実現を目指します。

会場電力
イベントの電気もサステナブルに「CO_2ゼロMICE®」を導入

＊CO_2ゼロMICE®
MICEを実施する際に、その会場で使用される電気をCO_2が排出されない再生可能エネルギーに置き換えることができるサービス。

JTB
感動のそばにいつも。

Green Power Certificate

グリーン電力証書

JTBコミュニケーションデザイン
CO2ゼロMICE® 2024年2月開催展示会

株式会社JTBコミュニケーションデザイン　様

会場：東京ビッグサイト

シリアルナンバー： 08P011-1803-1903-00164184A09～00238583A09
Serial Number

Green Power
Jtb Communication Design

この証書は、下記の通りに自然エネルギーによる発電が行われたことを証明します。
This certificate proves the following amount of power was generated from a renewable energy source.

グリーン電力相当量： 74,400kWh
Amount of Green Energy: 74,400kWh

発電種別：太陽光発電（長野県　第二期南信州おひさま発電所）
Type of Power Plant: Solar Power（Second term Minamisinshu Ohisama Power, Nagano）

発電期間： 2018年3月～2019年3月
Power Generation Period: From March 2018 to March 2019

証書発行事業者：株式会社JTBコミュニケーションデザイン
Certificate Issuer: JTB Communication Design,Inc.

認証機関：一般財団法人日本品質保証機構
Certification Organization:Japan Quality Assurance Organization

発 行 日 ：2024年1月31日
利用期間：2024年1月31日～2025年1月30日

Jtb Communication Design

複写・重複利用厳禁

発行日：　2024年1月31日

㈱JTBコミュニケーションデザイン　御中

Green Power
Jtb Communication Design

CO₂ゼロMICE®レポート

●ご利用者様

会社名	㈱JTBコミュニケーションデザイン	
住所	〒　105-8335	東京都港区芝3-23-1　セレスティン芝三井ビルディング12F

●グリーン電力証書発行内容

CO_2ゼロMICEご利用イベント名称	JTBコミュニケーションデザイン 2024年2月開催展示会
発行量（kWh）※	74,400
ご利用日	2024年1月31日

※グリーン電力証書は100kWh単位での発行となります

●CO2排出想定量

CO_2排出想定量	32,801.14　kg - CO_2

●環境に与えるインパクト

使用した電力量が環境に与えるインパクトの目安は下記の通りです。
CO_2ゼロMICE®を利用することにより、下記のインパクトを軽減したことになります。

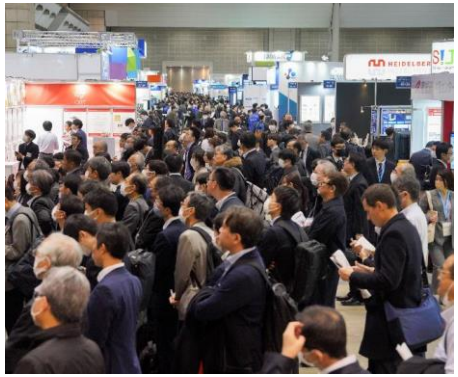
CO_2排出量を吸収するために必要な杉の木	2328.9	本　※１年間で吸収
CO_2量（2Lのペットボトル）	8,200,285	本分の体積
自動車での走行距離	118084.1	km走った時のCO_2排出量
東京駅-新大阪駅まで新幹線での往復	1257.6	往復
羽田-大阪間の飛行機での移動	574.0	人分

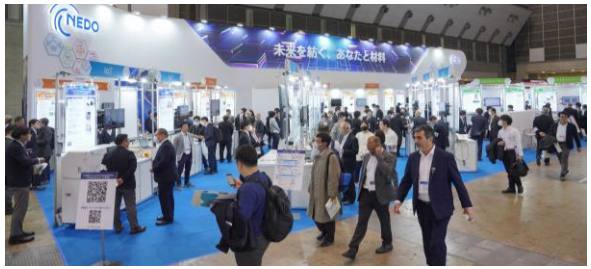
●SDG s の取り組み
7.「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」
13.「気候変動に具体的な対策を」

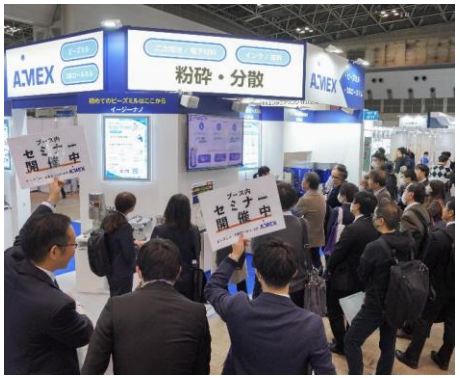
発行：株式会社JTBコミュニケーションデザイン
事業共創部　ソーシャルビジネス局　ソーシャルビジネス課
CO_2ゼロMICE事務局

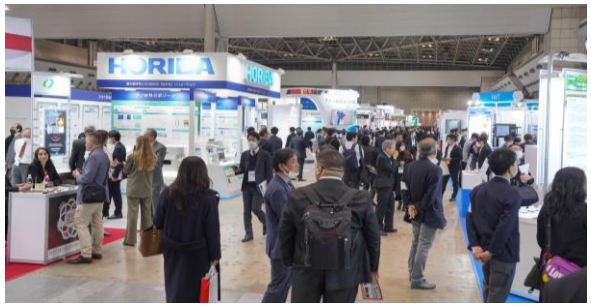
Jtb Communication Design

当日の様子　一部抜粋

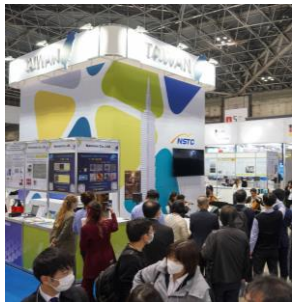






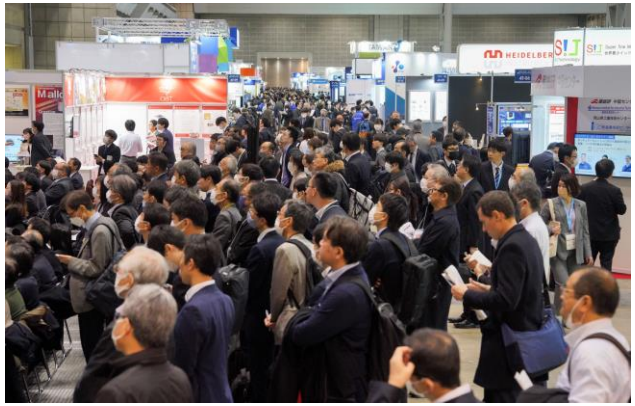


nano tech
International Nanotechnology Exhibition & Conference



主催・後援・協賛

主催:
nano tech実行委員会
株式会社JTBコミュニケーションデザイン



主　催	**nano tech実行委員会（2023年10月 更新）**	
	委 員 長	川合 知二（大阪大学 産業科学研究所 招聘教授 / 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター フェロー / 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 特任フェロー / 東京都市大学 特別教授）
	副委員長	馬場 嘉信（名古屋大学 大学院工学研究科生命分子工学専攻 教授 / ナノライフシステム研究所 所長/量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所　研究所長）
	委　員	石井 伸晃（一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会 事務局長）
		伊藤 忠（文部科学省「材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業（Materealize）」サブプログラムディレクター）
		上島 貢（日本ゼオン株式会社 CNT事業推進部 事業推進部長）
		金子 和生 （国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 材料・ナノテクノロジー部 部長）
		黒川 卓（中部大学 人間力創成教育院 教授 / 東北大学 特任教授 / 東京都市大学 客員教授 / 成蹊大学　客員研究員）
		後藤 一起 (東レ株式会社　研究・開発企画部長兼CR企画室長兼技術センター企画室参事)
		小林 彰宏 （日本電子株式会社　取締役兼常務執行役員）
		柴田 直哉（東京大学大学院工学系研究科総合研究機構 機構長・教授）
		白根 昌之 （日本電気株式会社 セキュアシステムプラットフォーム研究所 量子コンピューティング研究グループ ディレクター）
		武仲 能子（国立研究開発法人産業技術総合研究所 材料・化学領域 機能化学研究部門 主任研究員）
		竹村 誠洋（国立研究開発法人物質・材料研究機構（NIMS）SIP推進室 室長）
		田中 秀吉（国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 神戸フロンティア研究センター 研究センター長）
		出村 雅彦（国立研究開発法人物質・材料研究機構 技術開発・共用部門 部門長）
		内藤 牧男（大阪大学名誉教授）
		長山 智男（株式会社リコー 先端技術研究所 技術経営センター 技術戦略室 Executive Technology Expert　）
		西島 和三（独立行政法人 日本学術振興会 監事 / 東北大学 未来科学技術共同研究センター 特任教授 / 横浜市立大学 医学部 客員教授）
		原 重樹（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 ナノ材料研究部門 研究部門長）
		原 正彦（アーヘン工科大学 シニアフェロー／熊本大学 大学院先導機構 客員教授／東京工業大学 環境・社会理工学院 特別研究員／ロンドン芸術大学 客員研究員）
		吉田 勝（国立研究開発法人　産業技術総合研究所　材料・化学領域 触媒化学融合研究センター　研究センター長）
		萬 伸一（国立研究開発法人理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 副センター長）
		渡邉 政嘉（ナノセルロースジャパン ナノセルロース塾 塾長）
	事務局長	松井 高広（株式会社JTBコミュニケーションデザイン シニアフェロー）
後援	内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、日欧産業協力センター、情報通信研究機構、物質・材料研究機構、科学技術振興機構、産業技術総合研究所、新エネルギー・産業技術総合開発機構、量子科学技術研究開発機構、日本経済団体連合会、ナノテクノロジービジネス推進協議会	
協賛	日本化学会、日本バイオマテリアル学会、日本分析化学会、ナノ学会、フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会、日本顕微鏡学会、日本粉体工業技術協会、日本セラミックス協会、日本物理学会、高分子学会、ナノセルロースジャパン	

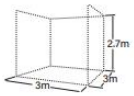
次回展　nano tech 2025 のご案内

詳しくは事務局まで：
nanotech@jtbcom.co.jp

出展要項

● 出展料

一般	¥418,000(税込)/380,000(税別)
独法・公的機関・協会・団体 (日本国内に住所を有する団体、組織のみ)	¥319,000(税込)/290,000(税別)
大学	¥209,000(税込)/190,000(税別)



出展料には以下が含まれています。
・出展スペース1小間＝
9㎡(間口3m×奥行3m)
※隣接する小間がある場合は、事務局側で仕切りパネル(高さ2.7m)を設置します。但し、角小間の場合、通路側のパネルはつきません。
※装飾・電気・通信回線等の工事費
および使用料は付帯しておりません。
・製品情報(資料・画像・動画)掲載
・上記に掲載した資料・動画の閲覧者データの取得
・ビジネスマッチングシステム(アポイント機能)
・来場案内(招待状)

● 参考価格

展示台	W900×D700×H750	2台
受付カウンター	W900×D450×H800	1台
パラペット	H300	3m
社名版 ゴシック系打ち文字	W1200×H200	1枚
パイプイス		2脚
カタログスタンド	(6段)	1台
貴名受		1ヶ
スポットライト	100W	3灯
床面カーペット	カーペット留込み	9㎡
幹線工事	電気使用料込み※	1kW
コンセント	2口	1ヶ
ゴミ箱		1ヶ

※照明の消費電力量(300W)も含む

1小間 パッケージプラン　参考価格 **¥143,000(税込)～**

※2小間・3小間用アップグレードプランもございます。
※申込先は、主催者指定施工会社となります。

出展者プレゼンテーション

● メインシアタープレゼンテーション

会場 オープン形式 シアター 120席（予定）
料金 1セッション 45分 **¥275,000**(税込)

● シーズ&ニーズセミナー

会場 オープン形式 シアター 100席（予定）
料金 1セッション 45分 **¥165,000**(税込)
1セッション 30分 **¥110,000**(税込)

■ 料金に含まれるもの
・プレゼン用スクリーン&プロジェクター
・音響機材一式(マイク2本、スピーカー)

■ 申込方法
・お申込は先着順にて受付けます。
・発表日時は先着順にてご案内いたします。
・同時通訳をご希望の方は事務局まで別途ご相談ください。

出展者サポートプログラム

● 出展者特集記事　料金 ¥330,000(税込)
● 公式ホームページ ロゴ掲載　料金 ¥440,000(税込)
● 主催者発行メルマガでのテキスト広告　料金 ¥55,000(税込)～
● 会場内プロモーション
(サイン広告 / バナー掲示 / デジタルサイネージ広告 等)　料金 ¥110,000(税込)～

ほかにも広報プランもご用意しております。
お気軽に事務局までお問合せください。

申込方法・スケジュール

● 申込方法

nano tech公式ウェブサイトの出展申込フォームよりオンラインにて受付いたします。
主催者が出展申込を受領した時点をもって、出展の契約が成立となります。
仮申込をした場合、2024年8月1日以降本申込への自動切換えとなります。

1 申込締切日： 2024年9月30日(月)
※但し、締切前でも予定の小間数になり次第締切ますので、お早めにお申込みください。

2 出展料のお支払い： 出展本申込後、請求書を発行いたします。
請求書記載の指定日までにご出展料を指定口座へお振込みください。

3 出展申込の取消： 出展本申込後の取消は原則として出来ません。但し、事務局でやむを得ないと判断した場合は取消を認め、出展規約の基準で解約料を申し受けます。

オンライン申込

規約

● スケジュール

2024年					2025年
1月	7月	9月	10月	12月	1月27日(月)、28日(火)
17日(水) 出展申込開始	31日(水) 仮申込有効期限	30日(月) 本申込締切	出展者説明会 (予定)	各種提出書類 締切	搬入・設営期間 1月29日(水)～31日(金) 展示会会期